

株式会社伊藤鑄造鉄工所

茨城県那珂郡東海村

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

新時代にふさわしい鑄造の現場を醸成 独自の技術で、オンリーワンのものづくり

大型の建設機械や鉄道車両用モーターフレーム、産業機械などの大型鑄造部品を製造販売しており、グループ企業や海外工場含めて月1,600tを生産。新時代にふさわしい作業環境の改善、品質、生産性の向上を目指し、典型的な3Kの職場と言われている鑄造の現場を変えようと工夫を重ねている。鑄造という数千年の歴史を持つ製造方法に、独自の先端技術を取り入れ、アイディア、テクニック、オピニオンを基本理念に当社にしかできないモノづくりを行っている。

● 所在地 茨城県那珂郡東海村松3129-43
● 電話/FAX 029-306-0030/029-306-0051
● URL <http://www.itofound.co.jp>
● 代表者 代表取締役 伊藤 幸司

● 設立 1946年
● 資本金 1,000万円
● 従業員数 109人



生産性向上

ロボット化とIoT技術の導入で熟練技術の標準化と設備稼働率の向上を図る

砂型の造型工程に、新たにロボット化しティーチング・プレイバック機能を備えることで作業を自動化した造型ミキサーと振動テーブルを導入。従来は作業者の力量に依存していた工程のバラつきを低減し、熟練技術の標準化を図ることで原価低減(ムダ砂削減他)、品質の安定化(砂型の不良低減他)を可能にした。さらに、これらの設備保全にIoT技術を用いたシステムを導入し、課題であった設備稼働率の向上を実現した。



ティーチングミキサー

圧縮機導入による鑄物切削粉のリサイクルシステムの開発

鑄造後の製品は、協力企業での機械加工を経て出荷する。この際、例えば鉄道車両用モーターフレームの加工工程では素材重量の約10%もの切削屑(切粉)が発生する。この切粉は細かく、切削油などの不純物が混ざり比重が軽いため、取扱いが難しくこれまで安価で売却または埋立て処分されていた。そこで新たに切粉を圧縮・圧着するブリケットマシン(金属切削粉自動圧縮機)を導入し、鑄物の材料(ブリケット材)を再利用することで、材料の物流を改善し品質の向上とコストカットに大きく貢献した。



ブリケットマシン

環境に配慮した事業活動と社員の健康管理に取り組む

社員の安全行動の習慣化を実現するため、「安全衛生大会」、「指差呼称大会」、「社長安全パトロール」、「AED講習会」、「避難訓練」を定期的に行い、全社で安全意識を高めている。また、社員の改善意欲を高揚するため、毎月優良改善提案の表彰を実施。さらにその中の選りすぐりの提案を集め年2回(6月と12月)「優良改善提案コンクール」を開催し、大賞、Idea賞、Technique賞、Opinion賞の表彰を実施。社員一人ひとりのちょっとしたアイディアが表彰され、仕事に役立っていくプロセスが日常化されている。



優良改善提案コンクール

ものづくり